

タイトル

書いた人の名前

2020 年 10 月 30 日

1 テンプレート

ここに本文を書く．これは自分用のテンプレートです．

2 なんで upLaTeX なの？

研究室での L^AT_EX の形式がこれだったから

2.1 使い方

- このテンプレートには各種設定や基本的なコマンドの使い方などが含まれます
- 不要な部分は削除してお使いください
- やる気がある限り順次更新されていくと思います

図は PDF 形式で貼りましょう．図 1 はサンプル画像です．

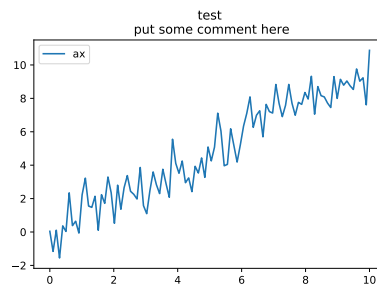


Fig.1 Sample Picture

図を横に並べて貼ることもできます．自動改行を防ぐために `tabular` 環境を使います．

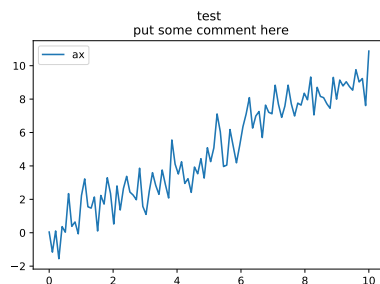


Fig.2 Sample Picture(Left side)

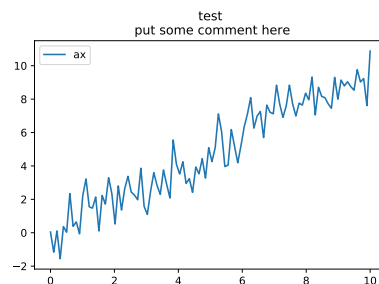


Fig.3 Sample Picture(Right side)

L^AT_EX で表を書くには `table` 環境と `tabular` 環境を使用します．

Table1 表のサンプル

i	a_i	α_i	d_i	θ_i
1	0	0	0	θ_1
2	0	-90°	0	θ_2
3	l_3	0	0	θ_3
4	l_4	0	0	$\theta_4 + 90^\circ$
5	0	-90°	0	θ_5
6	0	0	$-l_5$	0

数式は `amsmath` パッケージによって提供されています。オーソドックスな数式は `equation` 環境を使って書くことができます。

$${}^0T_1 = \begin{pmatrix} C_1 & -S_1 & 0 & 0 \\ S_1 & C_1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \quad (1)$$

数式にラベルを付けて、参照することもできます。式 2 は標準正規分布の公式です。

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma} \exp\left\{-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}\right\}, \quad -\infty < x < \infty \quad (2)$$

コードブロックを記述することもできます。ただし PDF の仕様上、コピペには向きません。ご注意ください。また、`lstlisting` 環境のインデントも反映されてしまうので、`LATEX` ソースコードのインデントが少し乱れます。それは仕様と割り切って我慢しましょう。

```
# hoge hoge
sudo apt update
sudo apt upgrade \
    curl \
    && hoge
cd ~/Documents
```

コードブロックにはキャプションやラベルを付けることができます。

Code 1 Generic Language Code Block

```
hoge hoge
hoge: moge
```

コードブロック 1 は言語オプションを指定していません。シンタックスハイライトは全て無効化されます。